



今春統廃合した香住二中



オストメイト対応トイレ

## 香美町施設の実態と対応は 改修、新築に心がけていきます



西谷 高弘 議員

直陽機能障害者で、ストーマ、人工肛門を装着している人をいい、災害時、また命に関わるものと言え、ストーマの洗浄可能なトイレの配置は不可欠だと思ふ。香美町全体の施設の実態とこれからの対応は。

区中央公民館、香住文化会館、村岡中央公民館など7か所あり今年度完成予定の小代地域局及び小代区総合センターの2階にも設置予定としており、町内で一般の方が利用される公共施設について今後、整備や改修を行う際には、可能な限りオストメイト対応トイレを設置していきます。

平成18年のバリアフリー新法施行により、設置義務づけ対象施設が増えたことにより、オストメイト対応トイレは全国でも増えつつある。オストメイトは正式には膀胱・

町長 町内の公共施設に係るオストメイト対応トイレの設置の実態は、香美町役場本庁舎、香住

## 学校統廃合問題を真剣に検討を 来年の教育振興計画に定めます



岸本 正人 議員

が、どのように検討するののか。

向性・計画を早く進めるべきだ。

平成23年に町長が、教育委員会へ諮問し、平成26年に答申した「教育環境の在り方」で5年間は統廃合しないと決定。しかし、前提条件・背景が変わった。出生数が平成23年129名、令和2年は63名である。統廃合の方

町長 「教育振興基本計画」令和4年度より10年間に全小学校区で、保護者・地域の方の意見を伺い、方向性を定め、早期に策定します。

当選後の報道で、要望の高い小学校統廃合は教育委員会と早期に検討したい。と抱負を述べている

教育長 保護者・地域

教育長 保護者・地域

の方が、どのような統合をイメージされているか検証します。統合に向けた取り組みが必要と判断した場合には、「教育振興基本計画」に方針を明記し、組み合わせや時期など具体的な内容を上げた「統合計画」を早期に策定していくと考えています。

